



栄えある受賞 おめでとうございます



釧路市民貢献賞



産業部門 ^{くり ばやし のぶ つぎ} 栗林 延次 さん (78歳)

1969 (昭和44) 年に株式会社三ッ輪商会へ入社、1987 (昭和62) 年には代表取締役社長に就任し、さまざまなことに挑戦する・できる社風を築き上げ、業績拡大の他、情報通信業や飲食業への進出など、時代と地域のニーズを常に先取りした経営手腕によって多角的に事業を展開された。

現在でもその社風は紡がれており、新事業を次々と展開し、暮らしに潤いと充実をもたらすその貢献により、地元企業および市民にとって不可欠な地域総合商社として、確たる地位を築かれた。

各種団体でもその秀でた指導力・行動力を求める声は大きく、釧路商工会議所では2004 (平成16) 年から副会頭に就かれ、ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (湿原の風アリーナ釧路) 建設に伴う基金協賛会の設立や地域プレミアム商品券事業の実施など、2期6年間その重責を全うされ、退任後の現在も顧問に就任されている。

以上のとおり、釧路市ならびに地域経済の振興、産業の発展に寄与された功績は極めて大きい。



社会部門 ^{ひら ま いく こ} 平間 育子 さん (76歳)

1988 (昭和63) 年に釧路市女性団体連絡協議会の前身にあたる釧路市女性の集い協議会に入会以来、副会長、会長を歴任し、地域の男女平等参画を推進する活動をされるとともに、北海道女性団体連絡協議会会長として、男女平等参画社会づくりに尽力された。

とりわけ、釧路市男女平等参画センターの設置に向け、市内外の女性団体の中心となり、市への要請活動や機運醸成を図るため、研修や会合、講演会を開催するなどの取り組みを実施して開設に手腕を発揮された。

さらに、女性や子どもの暴力に対しての支援組織としてNPO法人駆け込みシェルター釧路を創立し、理事長に就任され、釧路地域唯一のシェルターとして、DV被害女性の緊急保護と自立支援の活動をはじめ、予防啓発活動や調査研究事業を行ってこられた。

以上のとおり、男女平等参画社会の形成に向けた取り組みの中心的な役割を担い、市民生活の向上に寄与された功績は誠に顕著なものである。

釧路市文化賞



芸術部門 (郷土史研究) ^{さ と う ひろ つぐ} 佐藤 宥紹 さん (80歳)

1969 (昭和44) 年、釧路市史編さん員として地域史研究の第一歩を踏み出されて以来、釧路地域全般にわたる歴史的事象の解明、さまざまな分野に及ぶ史的・学術的資料の編さんに長年尽力されてこられた。

「釧路の近世絵図集成」をはじめとする地域・地域史研究の成果として刊行された多数の著書・編著書は、地域の歴史認識を深め、将来の貴重な地域・学術研究資料として確立された。

また、地域の文化財や史跡の歴史資産の所在を明確化し、その保護と価値を高める活動に尽力されるなど、日常生活における「文化」の意味と重要性を示された。

地域の歴史や文化等を学ぶ各種講座や講演を釧路市内外で行い、その知見を広く伝えるとともに、住民と連携して地域発展のための活動を続けるなど、本市の文化の発展・向上に多大な貢献をされている。



芸術部門 (美術) ^{かしわ ざき とし いち} 故 柏崎 敏一 さん (享年80歳)
(活動名:ビン・カシワ)

1969 (昭和44) 年に渡欧し15年間パリを拠点に世界各地で制作活動・個展を開催、ナイーブ派画家として活躍された。

繊細に描かれた、現実と空想がつくる幻想的な作品は世界中で不動の人気を博した。

1984 (昭和59) 年に釧路市に活動拠点を移された後も、画集の刊行や、日本巡回展をはじめとした数々の個展を精力的に開催しながら、釧路市や道内ゆかりの作品も多く手掛けられた。1990 (平成2) 年には、作品がフランス政府観光局の年賀状に使用されるなど、国内外で幅広い活躍をされた。

晩年は、その画風や人柄に魅かれて個展やアトリエを訪れた多くの方と交流されながら、亡くなる1カ月前まで制作活動を続けられ、釧路市の画家として、本市の文化芸術の振興に多大な貢献をされた。

釧路市スポーツ賞



サッカー ^{さ と う しげる} 佐藤 茂 さん (77歳)

1997 (平成9) 年から釧路地区サッカー協会副会長を13年間、2010 (平成22) 年から同協会会長を10年間務められた他、北海道サッカー協会の評議員としても尽力された。

また、2021 (令和3) 年に「公益財団法人日本サッカー協会創立100周年功労表彰」を受賞され、サッカーの普及振興に多大なる貢献をされている。

会長任期中の2013 (平成25) 年8月に、本市で初めてとなる「なでしこリーグカップ日テレ・ベレーザ対スペランツァFC大阪高槻」を、2014 (平成26) 年11月には北海道で初めて「第11回全日本女子フットサル大会」を開催された他、釧路フットサルリーグの草創期を10年間にわたり協賛する等、広範囲にわたってリーダーシップを発揮された。

ご自身も中学生から競技を始め、現在もシニア選手として60年余り現役でご活躍され、2020 (令和2) 年4月からは釧路地区サッカー協会の名誉会長に就任され、本市のスポーツ振興に多大なる貢献をされている。

授賞式の日程

■釧路市民貢献賞

日 時 10月10日(木) 午前10時
会 場 市役所本庁舎2階市議会議場
問合先 市役所市民生活課 (☎31-4521)

■釧路市スポーツ賞

日 時 10月10日(木) 午後4時
会 場 アクア・パールくしろ
問合先 市教委スポーツ課 (☎31-2600)

■釧路市文化賞

日 時 11月3日(日) 午前11時
会 場 市役所本庁舎2階市議会議場
問合先 市教委生涯学習課 (☎31-4579)

※今年度の釧路市スポーツ奨励賞、文化奨励賞は該当がありませんでした

今日からできる!家庭でできる食品ロス削減

問合先 市環境事業課廃棄物対策係 (☎31-4551)

10月は食品ロス削減月間、10月30日は食品ロス削減の日です。日本では年間472万トン、1人当たりおにぎり1個分の食品が毎日無駄にされています。食料を輸入に依存する一方で、大量の食べ物が捨てられる現状を変えるため、日々の工夫で環境や家計に優しい取り組みを始めましょう。小さな行動でも、皆で取り組めば大きな変化を生みます。生産者への感謝を忘れず、無駄を減らす意識を持ちましょう。

家庭でできること

- 買い過ぎない
冷蔵庫の中身を確認し、必要な分だけを購入しましょう。無駄なく使い切ることが大切です。
- 作り過ぎない
食べきれない量を作るよう計画し、余った料理は冷凍保存して活用しましょう。
- 外食時に注文し過ぎない、食べ切る
外食では適量を注文し、食べ切れない場合は持ち帰りも検討しましょう。



(出典: 政府広報オンライン)